

歴史的建造物 文化財等の計測 私的一般物の計測/保存

歴史的にも学術的にも価値があればあるほど、計測データが貴重になります。

永い歴史や文化を受け継ぐために

価値があればあるほど、データは財産です。

あのフランスのノートルダム大聖堂が大火災に見舞われ、高くそびえた尖塔が倒壊したのをご覧になりましたか。

それまでの永い歴史や文化、宗教それらを永い時と共に過ごしてきた建築物。

そこに接してきた多くの人々だけでなく、世界中の人が悲しみと衝撃に見舞われました。

その後、この大聖堂の3D点群データを残していたと聞きました。数年前にある技術者が撮影していたそうです。

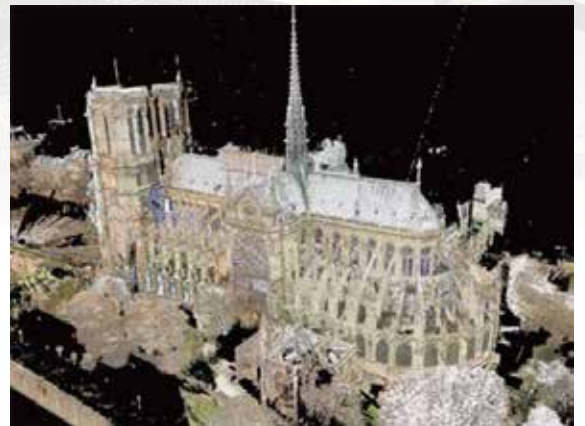
それを聞いた時、まだ微かに大聖堂の音が聞こえている気がしました。

まだ、無くなっていない。同じ形状の再建はなくても、復活できる。

全ての形状の計測ができ、再建に多くの情報を提供できることでしょ。

VRで中に入って、思い出してみてください。そして目をつぶって聞いてみてください。

また、目を開けて、見てごらん。ほら、よみがえってきました。



日本の歴史/世界の歴史、いや、地域の歴史

歴史建造物、美術工芸品、重要文化財...それだけでなく近所のお宮だって地域の方々にとっては、その地域の歴史です。学術的にも重要な文化財なのです。

保護の観点から、3次元データを撮っておくことは、造られた当時のことを思い出させるほどのインパクトがあるでしょう。

最近では自然災害も多くなりました。一般家屋の周辺地域などを撮っておくことも重要になってくるかもしれません。

それとも、30年後に、VRでタイムスリップしてみませんか。

